

Before

グループウェア導入以前は...

各社員がそれぞれ表計算ソフトで
顧客情報を管理



引き継いだ
C社の情報が
全然なくて...

確か
それは
...



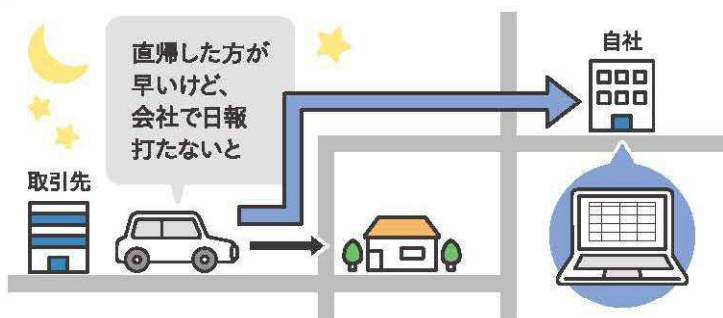
担当者によって情報も密度もバラバラ

記憶だよりの情報も...

情報が属人的で特定の担当者には分らない



欲しい情報がすぐに引き出せず、不便



社内で日報入力を行う必要があり残業時間増

事例に学ぶ

導入

グループウェア

NI Collabo360

月額328円/名〜 ※5ユーザーから契約可能

+

オプション 営業支援システム(SFA)

Sales Force Assistant 顧客創造

月額4,000円/名〜

導入の決め手:

- ・システム会社のサポートが手厚い
- ・UIやシステムのカスタマイズが簡単



株式会社 青柳

〒760-0066

香川県高松市福岡町2-5-7

TEL:087-821-7721

FAX:087-821-5010

URL:https://www.e-aoyagi.com

ホームページ



プリンターなどOA機器の販売、保守をはじめ、お客さまのニーズやシーンに合わせた総合的なオフィス環境のコンサルティングを行なっています。

株式会社青柳ではプリンターや複合機などのOA機器の販売、保守をはじめ、事務什器やセキュリティ対策といった総合的なオフィス環境のコンサルティングを手がけています。同社がITツールの導入に踏み切ったのは2023年。それまでは、従業員一人ひとりが表計算ソフトを用い、顧客情報や日報などを個人のパソコンで管理していました。同社では当時、データ管理のルールが策定されておらず、入力内容にばらつきが発生。担当顧客以外の情報が把握できない状況でした。「退職者から担当先を引き継ぐ際、困ることが多かったですね。情報が足りない」となっても前任者はいませんから。そんな時はベテラン社員や私の記憶を頼りになんとか情報を補っていました。さらに、スケジュール管理の面では表計算ソフトへの入力忘れによる抜け漏れもしばしば。従業員同士が

NI Collabo360



Sales Force Assistant 顧客創造

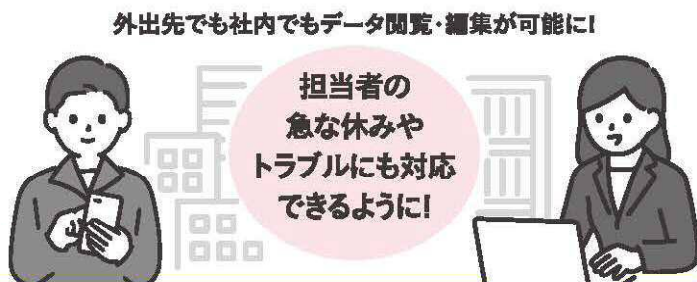
つぎのよう

- 経営や業務に便利な機能が36種類も使える
- スケジュールや顧客情報、チャットなどが一画面で見られ一覧性が高い
- パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットなどからもアクセス可能
- 自営業支援システムやデータベースとの連携もできる etc

同じ会社が提供するサービスで相互がスムーズに連携!

顧客情報などのフォーマットが統一
社内の情報格差解消へ

いつでも、どこでも、どの社員でも。
スケジュールや日報などの情報をリアルタイム共有!



効果を実感!

経営者コメント

今回が初めてのITツール導入でした。製品は機能面もちろん良かったのですが、なによりもサポート体制が整っていることが決め手に。システム会社と何度も打ち合わせを繰り返し、納得いく形でツール導入が実現して良かったです。相談や要望一つひとつに真摯に答えてくれて安心感がありました。製品選びで迷ったらサポート体制を参考にするのもひとつの手かもしれませんね。



株式会社 青柳
代表取締役

青柳 啓太 さん

効果1 担当外のお客さま対応がスムーズに

キーワード検索機能で担当外の顧客情報や取引履歴がすぐにピックアップできる環境に。情報の属人化が解消された。さらに、担当先を引き継ぐ際にも、正確な情報共有が可能になった。

効果2 空き時間の活用で残業削減に

どこからでも情報の閲覧・編集が可能に。空き時間の有効活用で、帰社後の残業時間帯の事務が削減できた。さらにSFA→グループウェアは情報が自動反映で、二重入力の手間なく情報共有も密になった。

効果3 蓄積データから、最適なアドバイスや提案

長期間の顧客データが把握可能になったことで、お問い合わせ内容や頻度、機器の入れ替え時期といった情報から、顧客に寄り添ったアドバイスや提案ができるようになった。

社員の声

情報共有が密になったからこそ、朝礼の際に入力忘れ等があれば、社員同士で声をかけあえる環境になりました!



情報を共有することの大切さを痛感しました」と青柳代表取締役。従業員たちから現状を改善するべきだという声も後押しとなり、IT導入に踏み切りました。

導入したのは「NI Collabo360」というクラウド型グループウェア。顧客やスケジュールの管理をはじめ社内チャットなど社員間の情報共有やコミュニケーションが密に。情報が見える化したことで業務効率を高めることができています。「当時、他企業からITを導入したものの運用がうまくいかず、結局使わなくなってしまったという話を聞いていたこともあり最後まで導入するかどうかを悩んでいました。その心配は杞憂に終わり、当社は今もITに詳しい従業員の力を借りつつ、必要な機能を取捨選択しながら使い続けることができていますよ。これから、時代の流れによってオフィス環境はどんどん進化していくと思われれます。実体験に基づくITツール導入も視野に、お客さまニーズに合わせた提案を考えていきたいです」と青柳代表取締役は語りました。